

つな がり



独立行政法人国立病院機構

東近江総合医療センター

〒527-8505 滋賀県東近江市五智町255番地

TEL 0748-22-3030 FAX 0748-23-3383

ホームページ <http://www.shiga-hosp.jp>

地域連携ニュース T・S・U・N・A・G・A・R・I 2018.01



- 病院行事のご案内
- 年頭挨拶
- 診療科紹介 消化器内科
- 医療機関のご紹介
- 編集後記

Vol.
28

災害訓練 (H29.9.30)



御園地区秋祭り (H29.11.5)



東近江市健康フェア (H29.12.3)



東近江総合医療センター 6 年目への現状と課題！

院長 井上 修平

皆さん明けましておめでとうございます。私が院長に就任してもう10回目のお正月を迎えました。平成時代もあと 1 年 4 ヶ月になりまた新たな時代に移り変わろうとしています。2013 年（平成25年）4月1日に東近江総合医療センターと名称が変わり早いもので5年が経過しようとしています。

さて当院の目標である地域の中核病院としての役割を今後も果たしていくための6年目への取組を以下にまとめます。

①診療機能の充実および拡張

現在、当院の果たす役割として要望されている項目は、東近江医師会からは人間ドック（脳および心臓 CT）の開始、東近江市からは肺がん検診の実施機関依頼があります。これらも何とか実現していきたいと思っています。診療に関しては患者さんの不利益にならない形での「DPC 導入」を診療報酬改定に合わせて4月から行います。

②地域包括ケア病棟への転換

現在 2025 年問題にむかって「地域医療構想会議」が開催され東近江圏域では 400 床あまりの急性期病棟を減らさなければなりません。当院は昨年 7 月から南 5 病棟（55 床）を地域包括ケア病棟へ変更しました。現在の運用は院内の転床が殆どとなっていますが、今後は在宅療養患者さんの急変時対応やレスパイト入院等の本来の役割を行っていきますので、地域連携室へのご連絡をお願い申し上げます。

③病院機能評価の受審

昨年 11 月には職員全員が一丸となって「病院機能評価」を受審しました。「患者中心の医療の推進」、「良質な医療の実践 1」、「良質な医療の実践 2」、「理念達成に向けた組織運営」の 4 領域を整備し院内のあちこちに理念や患者さんに分かりやすいように案内板が増え整理整頓ができました。

④滋賀医科大学地域医療教育研究拠点

当院、JCHO 滋賀病院、滋賀医科大学との連携によって研修医、医学生等の教育の充実を行うと共に滋賀県内に多くのいい人材を輩出していけるように活動しています。また住民の健康への啓蒙活動も行っています。

⑤基幹型臨床研修病院

この 4 月の初期研修医募集がフルマッチして新たに 4 人の研修医を迎えます。教育機関としての充実や期待感をひしひしと感じております。

⑥地域がん診療連携拠点病院の指定

滋賀県の 2 次医療圏で指定されていない地域は東近江医療圏のみとなっています。当院は放射線治療もでき設備面では問題ありませんが、いまだに病理医と放射線治療医が非常勤のままでまだ滋賀県の指定をいただいていません。今後の大きな課題となっています。

⑦地域医療支援病院の指定

東近江医療圏での中核病院としての役割を果たすため取得を目指していますので病病・病診連携のますますのご協力をお願い申し上げます。

⑧災害拠点病院の指定

東近江医療圏域は東西に広く、今後起こるであろう南海トラフ大地震の際には名神高速道路に面している当院の役割は重要だと認識しています。今後も滋賀県と粘り強く交渉し指定を受けたいと思っています。

当院を取り巻く東近江医療圏でも少子高齢化の影響を受けて徐々に人口が減少してきました。また当院の新入院患者数や救急搬送件数の伸びもプラトーに達した状況となっています。中核病院として6年目へ向かう取組を上記のように行っていききたいと思いますので、今後とも皆様方のご指導を宜しくお願い申し上げます。



東近江総合医療センター 消化器内科紹介

消 消化器内科は、辻川知之、伊藤明彦、神田暁博、水田寛郎、茶谷元晴の5名のスタッフで診療を行っています。

外来は、月曜が水田、火曜が伊藤、水曜が辻川、木曜が神田、金曜が茶谷の担当で、2016年度は一日平均患者数が54名と、当院の外来診療の中核を担っています。さらに、月曜は辻川が総合内科外来を、火曜午後は伊藤が栄養サポート外来を行っています。

診療内容は、地域住民やかかりつけの先生方のニーズに応えるべく、消化管から肝・胆・膵まで全ての消化器疾患に対応しています。特に炎症性腸疾患については、滋賀県では滋賀医大に次ぐ拠点病院として機能しています。

内視鏡検査については、できるだけ早く予約が入るよう、また365日24時間緊急検査に対応できるよう体制を整えています。その結果、2016年度は上部消化管内視鏡検査が2221件、下部消化管内視鏡検査が1163件となり、東近江総合医療センターとして再出発して以来、年々件数が増加しています。

内視鏡治療については、食道、胃、大腸ともに早期がんに対するESDを行っており、その件数は2016年度37件でした。また、超音波内視鏡を用いた精査も積極的に行っており、膵癌や粘膜下腫瘍、リンパ節などに対するEUS-FNAによって病理診断可能な症例が飛躍的に増加しています。ESDやEUS-FNAについては、近隣の他病院からの依頼も増えています。さらに、小腸内視鏡を駆使した診療については、小腸出血に対するカプセル内視鏡とその後のバルーン内視鏡による止血術、クローン病などの小腸狭窄に対するバルーン拡張、消化管再建後の総胆管結石治療など、湖東・湖北地区における中核拠点としての役割を担っています。



さて、2018年4月より東近江市で胃内視鏡検診が始まります。2018年度は、当院のみでの実施となります。東近江医療圏での胃がん撲滅を目指したいと思います。是非、通院中の患者さんへのお声かけをお願いいたします。

今後とも、消化器疾患に対する最高水準の医療を東近江医療圏で提供すべく努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



医療機関のご紹介



東近江市八日市金屋二丁目 1-7

島田 医院 内科・小児科・循環器科

TEL 0748-22-0140

FAX 0748-22-0140

島田医院と八日市

島田医院院長（東近江医師会副会長）

島田 徹

当院の先代院長（父）は丁度 100 年前の大正六年に生まれました。その年に日本最初の民間飛行場（沖の原飛行場）が開設されました。そして、その跡地の一部に東近江総合医療センターは建っています。

その飛行場を作った油商・熊本久兵衛の店だった所に、現在の島田医院があります。私はそこで生まれ、地元の小学校、中学校を卒業し、20 年前の平成 9 年に父から継承開業しました。私は 4 代目の院長に当たり、初代からの創業は 100 年以上となります。

父の代から変わらず、最小限のスタッフで、昔ながらの町医者として、地元と共に「つながり」を大切にしたい、地元で即した診療を続けています。アットホームで親しみやすい診療所を目指しています。

小規模ではありますが、できる範囲で在宅医療、往診、看取り医療も行っています。

また、通常診療ではレントゲン検査、心電図、ホルター心電図、心エコー、腹部エコー、血圧脈波検査、肺機能検査、骨塩定量なども実施しています。



東近江市市原野町 2225

榎田 医院 内科・小児科

TEL 0748-27-0062

FAX 0748-27-1162

榎田医院院長 榎田 昌之助

榎田医院の紹介の前に、当院通院中の糖尿病の患者さんへ

長く定期的に来られている方は 5 ～ 10 年前に比して血糖コントロールがよくなりました。HbA1c 7 ～ 7.5% 以下の人がほとんどです。

長いおつきあいのなかで食事に気をつけ、運動（とくに畑、グランドゴルフ）に取り組んでこられ、きちんと薬やインスリンを続けてこられた方々に敬意を表したいです。（病気に合った生活習慣が続いていますね。）

今後、食事（1 年前からゆるいロカボ食（低炭水化物食）を提案しています。炭水化物を減らすだけで、HbA1c が下がり、薬が減らせます。）と運動にもう少し目を向けて体力を保って欲しいです。

血糖がよくなると体が元気になります。そうすると薬が減らせ（医療費が下がる）生活の質が良くなります。加齢とともに血糖コントロールが乱れてくる人がいます。多分、食事や薬内服などが守れなくなってきたと思います。家族の協力をお願いしたり、月 1 回でなく月 2 ～ 4 回の通院にしてうまくいくことが多いです。その人好みの糖尿病ライフを見つけてもらいます。

腎臓が弱ってきたときは、腎内科へ紹介します。食事の塩を減らし、血圧コントロールを良く（腎の負担になる薬をチェック）していると悪化がかなり止まります。心臓もほぼ全員専門科に紹介します。心筋梗塞や心房細動がほとんどなくなりました。そしてがん検診も受けて頂きます。（肺、胃、大腸、前立腺、乳房、子宮）

“いきいき会”（日本糖尿病協会の当院の会）にも入ってもらいます。他の患者さんの声が聞け、新しい治療の知識が届きます。（なかなか読んでもらえていないようですが、読んで下さい。）

会では旅行や勉強会もやります。

このような長いおつきあいをしてしていると、私たちスタッフも患者さんのことがわかってくるようになります。ずっと元気なまま当院とおつきあいして下さい。その他の慢性疾患も同じようにスタッフ一同対応させて頂いています。

当地で先代久一郎が 50 年、私が 25 年働かせてもらっています。今後とも（70 歳です）ぼちぼちよろしく願いします。



皆様あけましておめでとうございます。昨年は当院では病院機能評価がありました。今年はDPC化が待っており、当院で研修を始める医師も増える予定です。私が当院に赴任して 10 年目に入ろうとしていますが、着任時とは大きく様変わりしました。「つながり」を通して、皆様方からより一層信頼される病院になれるよう心掛けたいと存じます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。（広報委員長 前田憲吾）